

NEWS

第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会 金田英和理事が環境大臣表彰を受賞

11月16日（金）午後1時30分からホテル日航金沢（石川県金沢市）において、「第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会」（主催／（公社）全国産業資源循環連合会、（公財）日本産業廃棄物処理振興センター、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団）が、全国から約650人の関係者が出席して開催されました。

主催者を代表して全産連会長 永井良一氏の開会の挨拶、環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課長 成田浩司氏、石川県副知事 竹中博康氏からの祝辞の後、循環型社会形成推進功労者に対する環境大臣表彰（産業廃棄物関係事業功労）が執り行われました。

式典では、協会理事 金田英和氏／サンコーリサイクル（株）代表取締役他31名が、成田課長より表彰を受けました。

基調講演は「AI・IoTの活用と資源循環」をテーマに、早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授 小野田弘士氏の講演がありました。

パネル討論会は「資源循環の促進と排出事業者責任」と題して、コーディネーターに長岡文明氏（BUN環境課題研修事務所主宰）、パネリストに成田浩司氏（環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課長）、蔵本和夫氏（石川県生活環境部次長）、森幸治氏（小松マテーレ（株）エンジニアリング部環境エネルギー課長）、毎田正男氏（クリーンライフ（株）代表取締役）らによる白熱した討論が行われました。

交流会は会場を移し、全国から参加した関係者や来賓の方々が多数参加しました。



環境大臣表彰状を授与される金田氏（左）

